

## 第1回砺波市庁舎整備検討委員会 議事録

■日時：令和3年6月11日（金）午後2時～午後3時30分

■会場：砺波市役所3階 大ホール

■出席者（◎は委員長）

氏名	役職等	団体名称等
朝倉 良子	一般公募	
五十嵐 正喜	子育て団体	砺波市児童クラブ連合会
池上 弘芳	男女協働	砺波市男女共同参画推進員連絡会
井上 五三男	自治団体	砺波市地区自治振興会協議会
老 健	福祉団体	砺波市社会福祉協議会
河合 要子	一般公募	
北村 憲三	商工団体	砺波商工会議所
五島 有恒	青年団体	となみ青年会議所
小森 兼重	福祉団体	砺波市民生委員児童委員協議会
武田 武美	商工団体・地域団体	庄川町商工会
竹林 正宏	学識経験者（建築）	元富山県土木部営繕課長
出村 幸世	観光団体	砺波市観光協会
◎中村 和之	学識経験者（財政・公共経済）	富山大学副学長 経済学部教授
原野 悦子	女性団体	砺波市女性団体連絡協議会
平井 宗壽	高齢者団体	砺波市老人クラブ連合会
吉田 快	教育団体	砺波市PTA連絡協議会

■欠席者

武田 武美

■市側出席者

夏野市長

事務局：畑企画総務部長、竹村財政課長、上田主幹、高田主幹、平田係長、佐伯主幹

■資料等

- ・会議次第、座席配置図
- ・資料1 砺波市庁舎整備検討委員会設置要綱

- ・資料2 砺波市庁舎整備検討委員会 委員名簿
- ・資料3-1 本庁舎の現状、本庁舎整備経過
- ・資料3-2 現庁舎案内図
- ・資料3-3 庁舎配置図
- ・資料4 市庁舎整備に関する研究結果報告書
- ・資料5 庁舎整備に関する公共施設対策特別委員会としての提言書
- ・資料6 砺波市庁舎整備検討委員会スケジュール（案）

## (1) 市長あいさつ

- ・コロナ中心だが、その中で色々な業務を行うには庁舎整備が必要。庁舎の整備は最後でいいという時代があったが大震災をきっかけに大きく変わった。震災で市役所の庁舎(=司令塔)が被災をし、機能が麻痺してしまった。そのようなことがあり、庁舎の意義が変わってきている。
- ・砺波市の庁舎の最も古いところは昭和39年であり、建物も古く、耐震基準が満たされていない。市長室、議会もその位置にある。合併した際に教育委員会が庄川支所にあり、庄川支所は耐震化になっているが、教育委員会と市長部局が密接に関連する仕事が増えてきているので、物理的に離れているとロスがあるため、昨年、教育委員会を本庁舎に移動した。
- ・砺波市役所の構造は分かりにくく、機能的に使い勝手が悪い。市役所は役所以外の会議、イベント等にも使用する要素がある。健康センターが離れた場所にあるのも不便。新庁舎では、議会の議場をマルチに使えるようにすることも考えている。
- ・他市の庁舎も参考にしながら、砺波特有の機能も取り入れた庁舎にするため、議論していただきたい。

## (2) 中村委員長あいさつ

- ・よろしく申し上げます。
- ・庁舎については、時代や社会環境等によって求められる機能や役割は変化する。安全防災拠点、地球環境問題を背景としたカーボンニュートラルの取組み等が庁舎の設置と関わってくる。何より大切なのは、行政サービスをしっかりと提供できるような拠点の場としての役割を求められる。

## (3) 資料の説明〔事務局〕

### 1) 本庁舎の現状 資料3

- ・敷地 14,000 m<sup>2</sup>、建物面積 2,900 m<sup>2</sup>、駐車台数 205 台
- ・自然災害想定 地震最大震度 6 強、洪水時浸水深 0.5~3.0m

### 2) 本庁舎整備経過

- ・昭和39年 本館建設、昭和48年 1号別館、昭和51年 2号別館
- ・本館棟、平屋棟、1号別館の耐震性不足

### 3) 令和2年度までの検討経過報告

- ・砺波市庁舎整備庁内研究会 「庁内整備に関する研究結果報告書」
- ・砺波市議会 「庁舎整備に関する公共施設対策特別委員会 提言書」

### 4) スケジュール

- ・次回 7月7日(水) 射水市庁舎視察

## (4) 議事

### ●中村委員長

ただいまの説明について、ご意見、ご質問などありましたら、どなたからでも結構でございますのでご発言願います。

### ●委員

・結論が出ているような説明であったが、20-30年後、40年後のことの考えるとどうか？目の黒いうち（ごく近い将来）のことしか考えていないのではないか。例えば、40年後の利便性はインターの近くが一番良いのではないか？人の往来が多く、高速道路はなくならないため。それから建設の手法について、CM方式（コンストラクション・マネジメント：民間の技術力活用等）を提案したい。

・射水庁舎等、従来は大まかな住民の意見・要望を聞き、決定した案を住民に提示する方法。CM方式は住民の皆さんがいろんな意見を出し合い、未来の庁舎や公共物はどうあるべきかを考える。庁舎は市民のものであり、役人のものではないという考え方。市民が住民サービス以外の目的でも訪れる庁舎が20-30年後の庁舎ではないか。

・方向性が決まっていて、これが行政のやり方か、これでは問題があるんじゃないか、と申し上げます。

### ●中村委員長

整備の方式に対するご意見。また考え方では大切なことを言われた。30-40年先を見据えて、そこから後ろ向きに現在を見据えていくという姿勢は大事だと思います。また、市民のご意見を反映させていくということ、今現在、投票権を持っておられない将来の市民の方の意見をくみ取って整備をしていくという考え方も大事だと思う。

### ●畑企画総務部長

研究会の報告書は結論ではない。市役所の考え方を提示できるようまとめたもの、一つの案・例であることをご理解いただいたうえで、ご意見を賜りたい。

### ●中村委員長

研究会の報告については、（庁舎で業務を行う）市の職員の検討ということでまとめたもの。これに対し、市民サービスのユーザーとしてのご意見をいただくということで、お願いしたい。ほかにありませんか。では、順に各委員から意見を求めます。

### ●委員

・自宅に帰り、資料を見直したい。今ほどの意見も興味があり、調べたい。  
・市の顔となる市役所の整備については、有事の拠点となることを考えると、50年後も誇れる庁舎になれば、今後も安心して使用していただけるし、コミュニティとしても活用していただける。

### ●中村委員長

今後の人口減少に対し、コミュニティの拠り所としての庁舎も大切。

●委員

・市役所は必要時にしか利用しない。もっと様々な場面で利用出来れば良いと思う。具体的な例は思い浮かばないが・・・。

●中村委員長

公民連携としての庁舎としても考えるべき、という意見、考えていかななくてはいけない。

●委員

・市職員の働きやすさも大切。市民が自慢できる建物が良いと思う。

(例として、自分が勤務する社屋建設時の女子トイレの整備がなく、急遽、対応した事例を述べられた)

●中村委員長

広く意見をお聞きしないと、抜け落ちることがある。ここでも参考としたい。

●委員

・研究会の報告書はまとめ方、分かりやすい。財政、人口減少・少子化等の問題も考慮が必要。学校の在り方検討会にも出席しているが、こういうことも考慮していかななくてはならない。

・最近、考慮すべきこととして災害対策がある。水害時におけるダムなどの対応が進められている。災害拠点となることも重要。

・市民の意見を聞くことも大切、他の会合でも話題になり、皆さんの注目もある。1-2年で進む話ではない、皆さんの意見を広く聞いてほしい。

●中村委員長

市民の意見を聞いていくことは大切。この委員会では、市民の皆さんの意見を聞き、論点がどこにあるのか、ということをお願いし、我々の方でも議論し、内容をまとめたい。

●委員

・財源の問題もある。庁舎サービスも大切だが、防災時の司令塔の機能が重要。ワンストップサービスなど、効率的な形を求めて議論していくべき（現在、庁舎と他の施設を行き来する必要もある）。多機能スペースもあっても良いが、費用のこともある。何らかの形で市民の意見を取り入れるべき。

●中村委員長

ワンストップサービス、従来は庁舎内の話だったが、昨今、公民連携などの活動もある。インターネットなどもある、バーチャルの会議もある。

●委員

・移転新築が希望である。同一敷地内で部分的な建設をしていくというのは、混乱混線してしまう。何か起きた場合では、遅い。ワンストップサービスというスタイルを構築していけるよう、全体スペースで一体的に建設する方が良いと思う。市役所は用事のある時だけでなく、困ったときに来て頼りになるべき、固いところではないイメージが重要である。

・予算などのことを言われたら分からないが、敷地の費用については、研究会で考えられた費用を知りたい。また、他県、他市の市民に開かれた参考事例を見てみたい。

●中村委員長

整備中にも行政の機能を維持しなくてはならない。庁内の研究会で他に適地をどのように考えていたのか、示していただきたい。射水市役所以外の事例など、情報提供いただきたい。

●委員

福島の庁舎、CM方式で行っている。そこへの視察を希望する。

●委員

・庁舎には、それほど来ない、来ても分かりにくい。自分が思うのだから、高齢の方にはもっと分かりにくいと思う。市役所で働いている方の環境、働きやすくなっているのか。

●中村委員長

分かりにくいというのは、その通り。ソフト面である組織自体が分かりにくいのに、さらにハード面の庁舎自体が更に分かりにくくしている。ハードがもっと分かりやすくすれば、ソフト面も分かりやすくなる。庁舎整備では、対応すべきところ。

●委員

・現在の庁舎の駐車場の台数が少ない。また、幅が狭く駐車しにくい。それと敷地への進入路が分かりにくい、県外の方、どこから入ればよいのか分からない。この敷地での配置計画により、道路からの進入を明確にしてほしい。交通手段は車であり、駐車場の整備は、必須、さらに広い駐車場整備を望む。

・高齢者の方の来庁など、たらいまわしになることなどなく、1箇所ですべての用事が済むように対応してほしい。

●中村委員長

駐車場の問題は、市民の利便性に直結であり、重要。

●委員

・建築の分野から意見を述べるならば、この敷地での建設、先ほど意見のあった民間の手法についても検討が必要だが、その前に、この敷地内での建設となると、広さに対し、内容の整理が必要。一般的な庁舎の広さであれば建設が可能であると思う。

・建設の経過において、なるべく仮設を作らないような手法をとり、順次建て替えをすると増築棟の位置が、一番邪魔になる。増築棟を壊したうえで、建設を進めていく方が機能的。そのうえで、高層を検討すれば、駐車場の問題にも対応可能。駐車場は平屋の方が止めやすいと思う。

・民間を入れる場合、入居者の事業収支がとれることが必要。大都市においては需要がある。砺波市で需要があるかどうかは、検討する必要がある。

●中村委員長

庁舎で期待する機能については、この委員会で検討すべき。庁舎一点にすべての機能を集中させるということでもない、全体的に公共サービスを捉える必要がある、行政的にも、どのように考えているのか、聞かせていただきながら、進めていきたい。

●委員

・まだ、意見がまとまらないが、現庁舎は別館があり、分かりにくい。長期的な面からみて、全部建て替えが良いと思う。敷地の場所については、まだ、分からない。

●中村委員長

射水市役所の視察により、砺波の場合はどうすべきか見えてくるところもある。

(具体的なイメージを持つことができる。)

●委員

・研究会の報告を見ていると第6, 7が目につく(市庁舎の位置、経済性)。最終的に費用によって判断となっているが、具体的な数字が見えない。これから示していただけたらと思う。

・市役所をよく利用する立場からすると、誰にでも分かりやすい市役所、というものにしてほしい。(現在の庁舎では迷うことを例示)

・また、現在の駐車場は使いにくいので、整備の際には見直すべきである。

●中村委員長

分かりやすい庁舎、という意見をいただきました。現在、職員のマンパワーで補っているところもある。

費用については、機能により変わるところもあり提示しにくいと思うが、何か分かりやすく示していただきながら議論を進めたい。

#### ●委員

・市民に親しまれる庁舎、利便性や場所の選定など、研究会や皆様のご意見を聞き、色々と検討されていると思いました。皆さんの意見を聞き、将来への対応と、ニーズについても検討するべきと思いました。庁舎の在り方、人口減少、少子高齢化、情報化によるあり方、その中での市役所の果たす役割には「小さな行政」という観点も必要。また、資金はどれだけでも良いという訳ではなく、費用のことも検討が必要。様々な視点から、この検討会で検討していきたい。

#### ●中村委員長

フレキシブルな形で設計していく、40-50年先、見通しにくいことも考えながら検討していく。

#### ●委員

・個人的には、移転して、建て替えをすればよい。理由は、建て替え中に何かあってはいけない。来庁者へのサービスを第一に考える。

・小中学校ではデジタル教育が始まっている。5年後には今の中学生が社会に出て、少し変わってくる、10年後にはがらりと変わる。市役所で働く人も、働き方も、今とは全く異なる。

・移転先等については、これから検討していけばよい、移転することによって、新たな場所で発展していくのであれば、良いと思う。

#### ●中村委員長

様々な視点で意見をいただいた。それぞれの意見に一長一短がある。5-10年後、デジタル教育を受けた方々が社会に出てくる。現況の紙ベースの行政サービスは、変化し、紙の書類の保管から、サイバーテロへの対応への変化など。

最後に、まとめてご意見はあるか。

#### ●委員

・砺波の庁舎が駅前からの移転により、この敷地に、そして、この近辺が恩恵を受けて栄えた。次の世代の中で、恩恵を受けるべきところ、新しい街づくりを考えた方が良い。自分たちの目の黒いうちではなくて、30-40年後の未来を考えたときに、絶対なくなるものは高速道路、国道なので、その観点から、新しい街づくりを考えてはどうか。

#### ●中村委員長

庁舎というのが街づくりの一つになる、という考え方も必要。同時に、どこに、どういった機能の公共施設を配置すればよいのか考えていかななくてはならない。庁舎がその機能にふさわしい場所も、そうでない場所もある。

また、何より、機能はどのようなことを担うべきなのか。だんだん、庁舎がある位置の意味合いも、デジタル化が進むにつれ変わってくる。昔ならば、庁舎は町一番の雇用を生み出して、産業を生み出して、賑わいを生み出していたが、そのあたりも変わってくるのか、とも思う。

いろいろな面から議論できればと思う。

この後、ご意見やご質問等あれば、事務局の方にいただけたらと思います。

#### ●事務局

以上で、閉会。